

総合型選抜

政治経済学科

1. 指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・フリガナを記入しなさい。
3. この問題冊子の不ぞろい等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に申し出なさい。
4. 解答時間は80分です。
5. 試験終了まで、受験者の退出は認めません。

第1問

次の文章は、アメリカの政治哲学者ジョン・ロールズ（1921-2002）の著作『正義論』の一部を解説したものである。この文章を踏まえたうえで、ABCの会話を読み、各問に答えなさい。

《文章》

ロールズは、「無知のヴェール」という新しい概念装置によって、^①社会契約思想を修正する。

「社会契約なんて虚構だ」という批判がすでにあることを、ロールズは意識している。そして、社会契約思想家たちの言うような、「原始的な自然状態」を想定して「そこで全員がいっせいに社会契約を結ぶ」という論法にはさすがに無理がある、とロールズは認める。

そこを修正してロールズは、自然状態の代わりに「無知のヴェール」という新しい概念を、思考過程の装置として置く。そしてこう問う。「あなたがオギャーと生まれる直前の赤ちゃんだとして、どんな境遇に生まれるかを知ることのできないヴェールをかけられていたら、どんな社会を望みますか」と。

その自分が生まれる社会は、大富豪と極貧者に分かれる社会かもしれない。ほどほどの富者と何とかはできそうな貧者が混在する社会かもしれない。そして自分が生まれる境遇は、金持ちの家かもしれないし、貧しい家かもしれない。そこが「無知のヴェール」をかけられて見えない、と想定するのである。これが、社会契約思想の「原始的な自然状態」に代わるロールズ流の想定である。

そしてロールズはこう推論する。「こう問われた人の多くは、自分が最悪の境遇、その社会ではもっとも貧しい家に生まれる場合を考えて、最も不利な立場の人でも何とかはできそうな社会がよい、と答えるだろう」と。大富豪と極貧者に分かれる社会よりも、富者もほどほどで貧者もほどほどという社会のほうがマシで、自分が生まれる家を前もって知ることができないなら、後者の社会に生まれたいと思うはずだ、と言うのである。

出典：徳永哲也『正義とケアの現代哲学：プラグマティズムから正義論、ケア倫理へ』（晃洋書房、2021年）（出題にあたって一部改変した）

《会話文》

A「私はロールズの意見に賛成だね。自分がもしとても貧しい家に生まれてしまって、病院にも行けないリスクを考えたら、少しくらいは平等な社会に生まれたいから」

B「そうかな。ロールズの意見は、おかしいと思うよ。ロールズが言っているのは、1000万円を %の確率でもらえる権利と、 万円を確実にもらえる権利とがあったら、後者のほうがいいってことだよな」

A「そののどこがおかしいの？」

B「1000万円を %の確率でもらえる権利の期待値は、 万円、 万円を確実にもらえる権利の期待値は、40万円でしょ。前者の期待値は後者の2倍。同じように、^②極貧に生まれる心配をするよりも、大富豪に生まれる可能性に賭けたほうがいいのかどうか、計算すればいいんだ」

A「そうかなあ、Cさんは、どう思う？」

C「私はロールズに賛成はしないけど、Bさんが言っていることもおかしいと思う」

A「つまり？」

C「人生は一度きりだから、何回も試すことはできないよね。Bさんは、飲んだら10億円がもらえる代わりに、50%の確率で死ぬ薬と、飲んでもなににももらえないけど、毒性がまったくない薬を渡されたとき、死ぬ可能性のある薬を飲むの？」

B「飲むよ。だって前者の期待値は5億円じゃない」

A「ええ？ ほんとう？ 自説を変えたくなくて、意地を張っているだけじゃないかなあ。ところで、Cさんはなんでロールズに賛成しないの？」

C「Aさんみたいなゴリゴリの確率論者は説得できないからだよ。無知のヴェールのもとで、みんなの意見が一致するわけがないよね」

A「うーん、このまえの授業で、^③相対的貧困率を習ったよね。^④大富豪と極貧のひとのあいだの格差が小さくなればなるほど、相対的貧困率は低くなるから、格差の小さな社会のほうが、いいんじゃないかな」

問1 会話文のx y zに入る数字をそれぞれアラビア数字で答えなさい。

問2 文章中の下線部①について、17世紀に存命した社会契約思想家の名前をひとり答えなさい。

問3 会話文中の下線部②について、Bがこの下線部②で主張していることは、文章中のロールズの考えによれば、成り立たない。その理由を、〈無知のヴェール〉という単語を必ず使って、50文字以内で述べなさい。

問4 会話文中の下線部③について、次の相対的貧困率の定義を読んだうえで、表1のような5つの世帯から成る社会の(1)等価可処分所得の中央値、(2)貧困線、(3)相対的貧困率をそれぞれ答えなさい。なお、各世帯はすべて、父母および子2人の計4名から成ると仮定する。

【定義】

等価可処分所得（世帯の可処分所得（総所得から一定の支出を除いたもの）を世帯人数の平方根で割った所得）の中央値の半分を「貧困線」と呼び、その貧困線未満の等価可処分所得しか得られていない世帯員（世帯を構成する各人）の割合を「相対的貧困率」と定義する。

表1

世帯名	サトウ	スズキ	タカハシ	タナカ	イトウ
世帯の等価可処分所得 (単位：日本円)	1億	5000万	600万	300万	200万

問5 会話文中の下線部④について、問4で与えられた相対的貧困率の定義にしたがうかぎり、下線部④のAの発言は成り立たない。その理由を50文字以内で説明しなさい。

第2問

次の資料Aを読み、後の問1・2に答えよ。

資料A

ゲーム理論は結果が相手のとりうる手によって左右されるという戦略的な相互作用を表現するために作られた社会科学の方法論である。

… 国際関係のさまざまな帰結に対して順序をつけ、選好を決められるとしよう。そこで、自己利益を最大化しようとする合理的な国家が、同様に行動しようとする相手国と戦略的に相互作用する場合、「相手の手に対する最適対応の組み合わせ」は均衡となる帰結から離脱者を生み出すことなく社会的に安定状態をもたらす。

以上の点を、軍拡と軍縮をめぐる2国間の国際関係を例に説明してみたい。アメリカとロシアという大国の関係を想像してほしい。両国ともに、核兵器を保有して軍拡と軍縮という2つの選択肢を持っている。現状維持という選択肢もありうるが、問題を複雑にするだけなので、忘れておこう。アメリカもロシアも、核兵器を独占している世界はもっとも自国に有利で、他方で核兵器は保有コストがかかるとも感じている。よって、自国だけが軍拡している状態はもっとも望ましく、自国だけが軍縮している状態はもっとも避けたい。しかし、核兵器開発を両国がする状態と核兵器の軍縮を両国がする場合を比べれば、現実には使えない核兵器を維持するコストが大きいことを踏まえ、両国の核軍縮>両国の核軍拡という不等式が成り立つと仮定できそうである。

このように、行動を選択するアクター、そのアクターが結果(=国際関係の帰結)に対して持つ選好順序、そして相手と自分が持っている情報、そして意思決定を行う順序(これを手番と呼ぼう)を設定し、ゲームを解いてあげること、つまり均衡を求めることが可能になる。図1を見てほしい。図1は戦略型といわれるゲーム理論の表記で、アメリカとロシアの軍拡と軍縮をめぐる同時手番で(=同時に意思決定をして)1回限りの、相手と自分の選好を知っている完備(=相手の選択肢や選好を互いに知っている状態)のゲームを示している。

図1 軍縮と軍拡をめぐる2国間ゲーム(同時手番、1回限り)

		アメリカ	
		核軍縮	核保有
ロシア	核軍縮	3 3	1 4
	核保有	4 1	2* 2*

図1では、国名が枠外に書かれ、マトリクス(行列)に選択肢である軍縮(あえてここでは核軍縮と表記)と軍拡(あえてここでは核保有と表記)で分けられている。アメリカとロシアの2か国が軍縮か軍拡かを選択し、その組み合わせによる4つの社会状況が国際関係の帰結として表現されている。ここで、各マス(これをセルと呼ぶことが多い)に数字が記載されている。右手の数字はアメリカの、左手の数字はロシアの選好を示していて、 $4 > 3 > 2 > 1$ という設定において、4がもっとも望ましい結果、1がもっとも避けたい結果である。確認すると、相手だけが軍拡

して自分が軍縮というのは避けたいので1が入り、その逆には4が入っている。なお、この数字は仮定としておいて
いるもので、説明をつけて別の順序を与えてもよい。分析者の自由である。

このとき、国際関係の帰結は【軍拡 軍拡】【軍拡 軍縮】【軍縮 軍拡】【軍縮 軍縮】という4つの組み合わせに
なる（【 】の前側にアメリカの選択、後ろ側にはロシアの選択が書かれている）。

このモデルでは、互いに軍縮を選ぶ社会状況が望ましいが、相手が軍拡を選ぶ可能性がある以上、自らも軍拡を選
び、相手も同様に考えて行動してしまう。

出典：多湖淳『国際関係論』勁草書房、2024年、28-30頁、一部改変。

問1 なぜ図1における2国間ゲームの「相手の手に対する最適対応の組み合わせ」（*をつけている部分）が【軍
拡 軍拡】になるのかを200字以内で説明しなさい。

問2 図1は、互いに協力する方が協力しないよりもよい結果になることが分かっているが、協力しない一方のアク
ターが利益を得る状況ではお互いが協力しなくなるという状況を表現している。これを踏まえて、以下のルーム
シェアをめぐる示されている状況でのアクターの行動の選択肢とその選好の順序、結果（均衡）を図1にならっ
て示しなさい。またそのゲームを400字以内で説明しなさい。

【ルームシェアの状況】

AとBは一つの部屋をルームシェアしている。両者ともに、この部屋を掃除する、掃除しないで出かけるという
2つの選択肢を持っている。AもBも、できれば相手に掃除を押しつけて自分だけ出かけたいと考えている。他方、
二人で協力して掃除できるなら、そちらのほうが誰も掃除しないまま部屋が汚れるよりも良いと思っている。よっ
て、自分だけが出かける状態がもっとも望ましく、自分だけが掃除する状態はもっとも避けたい。しかし、両者が
出かけてしまう状況と両者が掃除をする場合を比べれば、「両者ともに掃除をする>両者ともに出かける」という
不等式が成り立つと仮定できる。

問題はここまでです